

第1回専門部会を開催しました

来春4月の義務教育学校開校により、現在の小中学校4校は閉校となりますが、閉校に伴う記念式典をはじめとする事項を調査検討するため、義務教育学校開校準備委員会専門部会を設置し、6月4日に第1回目の会議を村役場で開催しました。

会議では、草野小学校PTA会長の杉岡睦さんを部会長に選出後、専門部会のスケジュール、閉校記念誌の内容構成(案)を決定しました。

今後、閉校記念誌の編纂や記念行事の検討を進めていくこととなりますが、関係する資料の提供など、村民の皆様のご協力をお願いいたします。

飯舘村義務教育学校開校準備委員会専門部会員 (順不同/敬称略)

部会長 杉岡 睦(草野小PTA会長) **副部会長** 渡邊健児(飯樋小PTA会長)

副部会長 佐藤修治(白石小PTA会長) **副部会長** 庄司幸夫(飯舘中PTA会長)

顧問 星 貴弘(前村PTA連絡協議会長) 渡辺守男(草野地区住民代表)
荒 利喜(飯樋地区住民代表) 佐藤眞弘(白石地区住民代表)

事務局 吉川武彦(草野・飯樋・白石小校長) 佐藤公一(飯舘中校長)
烏中雪野(草野小教頭) 遠藤隆一(飯樋小教頭)
蓮實修一(白石小教頭) 新野賢一郎(飯舘中教頭)

(草野小・飯樋小・白石小・飯舘中教職員)

閉校式典委員 門馬経宏 青山繁雄 佐藤飛鳥

閉校記念誌委員 長谷部薫 高橋七恵 星 昌子 横山健大 齋藤浩子 高橋未央
吉田崇紘 村永一人 荒 寿子 向井 敏 山岸 徹 伊澤佳子

閉校記念行事委員 室井真奈美 渡邊匡郎 佐藤 凜 林 理恵 飯沼由佳 柴山奈ノ美
加藤奈津紀 今出典子 齋藤絢子 佐藤拓也 福田 修 三浦有矢
梶田 歩 佐藤優美 庄司ハマ子

竹のように 教育長より

「学校が無くなんのは、やっぱり寂しいねえ…。」
村民の方々の声を聞くと、義務教育学校の「閉校」と同じくらい、いやそれ以上に大切にしなければならぬのは、現在の学校の「閉校」であると考えます。
そこで教育委員会では開校準備委員会の中に「閉校に関する専門部会」を立ち上げて、小中学校が主体となって「閉校記念誌」や「閉校式典」、「閉校行事」に取り組んでいただいております。
村民の皆様方には、閉校統合を4つの学校が無くなる「引き算」と考えるのではなく、4つの学校が合わさる「足し算」であり、それぞれの「よさ」がかけ合わさる「かけ算」であると考えていただきたいと思います。

義務教育学校の設立の趣旨にも「統合する3小学校と飯舘中学校の伝統と校風を継承し発展させるために開校する」ということが盛り込まれています。それぞれの学校は形を変えて未来に残るのです。

4つの学校の歴史の重みと卒業生や地域の方々の思いを感じながら、閉校記念誌や閉校式典・行事が、子どもたちや地域の方々が「前向き」な気持ちになれるようなものとなるよう取り組んでまいりますので、資料提供等のご協力をよろしく願っています。

教育長 遠藤 哲

村の教育に^{プラス} 義務教育学校の よさを活かして



義務教育学校の開校に向けて(1)

来春4月に開校する「義務教育学校」について、今月号から順次、疑問点にお答えする形式で説明していきます。

●義務教育学校とは?

義務教育学校は、義務教育として行われる普通教育を9年間一貫して施すことを目的としており、平成30年4月現在で、全国29都道府県に70校が開校しています。

福島県では、郡山市に西田学園が昨年4月に開校し、本年4月には県内2校目の郡山市立湖南小中学校が義務教育学校としてスタートしています。

飯舘村の義務教育学校は、県内3校目として、新しい学校の歴史を刻んでいくこととなります。

●義務教育学校のメリット①

- 一人の校長を中心とした1つの組織による一貫した教育ができます。
- 9年間一貫した教育目標・教育方針による系統的・計画的な教育ができます。
- 多くの教職員による児童生徒への9年間継続した指導・支援ができます。
- 9年間のカリキュラムの柔軟な編成・実施ができます。
- 多様な異学年交流により豊かな人間性と高い志を育成できます。

義務教育学校を含めた小中一貫教育を実施している全国1,130校を対象に文部科学省が実施した実態調査では、次のような調査項目で「成果が認められる」とする回答が多数を占めています。

- * 学力調査の結果が向上した
- * 学習意欲が向上した
- * 学習規律、生活規律の定着が進んだ
- * 学校生活への満足度が高まった
- * 不登校が減少した
- * 規範意識が高まった
- * 地域、保護者との協働関係が強化された

誰でも参加OK!

義務教育学校開校に関する 第1回住民説明会を開催します

【日 時】 7月13日(土)

午後1時30分～3時

【場 所】 交流センター「ふれ愛館」ホール

【内 容】 ①義務教育学校設立に至る経過
②義務教育学校設立のねらい
③質問、意見交換 他

【出席者】 村長、教育長、教育委員会職員

村では、来春4月に義務教育学校を開校することとしており、この間の経過、義務教育学校設立のねらいや特色等について、村民の皆様にご説明する機会を設けたいと考えております。

今年度中に3回程度の開催を計画しておりますが、第1回目の説明会を左記のとおり開催いたします。どなたでも参加できますので、繰り合わせご出席ください。